



FANBOX

「お願いですアルファさん！セックスさせてください!!
一生パシリでも奴隷でもなんでもしますから!!」
「あなたもしつこいわね、何度も土下座をされてもセックスなんてしないわよ」
「だったら挿れずに先っちょが触れるだけでもいいですから!!お願いします!!」
「いえ挿れる挿れないとかそういうことじゃなくてね……」

そうやってしつこくモブの要求を何度も断っていたが
ある日もう断られたら死んでやるとまで言われてしまった



「死んでやるなんて言われても私としては一向に構わないけど」
（でも万が一にでもシドの学園生活に支障をきたすといけないわね……）
「そこをなんとかか！」ドン！ドン！

「ちよ、ちよつと、土下座で床に頭を打ち付けるのはやめなさい。
……はあ、仕方ないわね今回だけよ」

「ありがとうございます！ありがとうございます！！」

（それにここまで情熱的に迫られたら悪い気分じゃないし……
始まったら適当に誤魔化してさっさと帰ってもらいましょう）



「フー！フー！アルファさん！やっぱり我慢できないです!!」
「ちよ、ちよっと待ちなさい！さっき挿れないって約束したでしょ!」
「先っちよだけ！先っちよを少し挿れるだけですから!」
「そんなの信じられるわけないでしょ」
この状況だってやりすぎだと思ってるのに」

ドキ♡

ドキ♡

ぐい

フーッ

フーッ

ちよ

ちよ♡

ちよ

「でもアルファさん少し期待してますよね？」
「さっきからまん汁が溢れてますよ?」
「ぐいこれはさっきから胸を掴まれたり」
「さんさん性器同士を擦り合わせられたから生理的なものよ」

「すこし挿れるだけでも絶対に気持ち良いですから！
一緒に気持ち良くなりましょうよ！」

「気持ち良くなるとかそういうことを言ってるんじゃないやなくて……」
「これつきりでセックスを迫るのは最後にしますんで！」

ドキ♡

ドキ♡

ぐい

フーッ

フーッ

ちゅ

ちゅ♡

ぺち

「わ、わかったから無理矢理挿れようとししないで。

私だって心の準備つてものがあるのよ……」

（もしかしたらこうなるかとは思ってたけどやっぱ……」

少しだけ、少しだけ挿れたら押し返しましょう」

「やった！絶対に満足させてみせますね！」

じゅぶぶぶぶ♡

「ぜ、全部入った……アルファさんの腔内ぬるぬるであつたけえ」
「おっ♡奥まで一気に挿れるなんて……」
（な、なにこれ、熱くて深い……）

あ♡

ぞく

ん♡

ぞく

ぶるん

ぶるん

どちゅ♡

どちゅ♡

じゃぽ♡

どぽ♡

じゃぽ♡

「もう中はぐっちよぐちよじゃないですか、
あんなに浸ってたのにおま○こは準備万端でしたね」
「んん……ま、待って動かないで」
「そ、そんなこと言われてもチ○ポが吸われて腰が止まりません！」

「さ、先っぽだけって言うってたのに……んんっ」
「アルファさんみたいな美人エルフと生ハメできるなんて最高」
「ち○ぽのハマリ具合から僕達相性バツチリですよね？」
「うるさいわね……そんなことよりさっさと終わらせて」
「さ、さっさからアレがゴリゴリ掻き分けて来て
耐えるのに精一杯なのよ……」

ぞく

ぞく

ぶるん

ぶるん

どちゅっ♡

どちゅっ♡

じゃぽ♡

どぽ♡

じゃぽ♡

「折角ですしベロチューしてもいいですか？」

「キ、キスだけは絶対に駄目よ、本気で怒るからね」

「今そんなことをされたら流石に不味いわ……」



パン

ぬちゅ♡

どろ♡

パン

ぬちゅ♡

いゅ♡

パン

♡♡♡

ぶるん♡

ん♡

ぶるん♡

ふ♡♡♡

ふ♡♡♡

いゅ♡♡

いゅ♡♡♡



ドキドキ♡

ぎゅんぎゅん♡

ぎゅんぎゅん♡

はー♡

はー♡
ぎゅんぎゅん♡

ぎゅんぎゅん♡

ぎゅんぎゅん♡

ひゅるっ♡

ぎゅんぎゅん♡

ぎゅんぎゅん♡

「ふう、アルファさんのおま○こ最高でした」

「ぼー……はー……な、中に出すとか
なんてことをしてくれたの……ありえないわ」

はぁー♡

はぁー♡

ビクッ

あー♡

あー♡

ぐんぐん♡

ギン

ギン

「まだまだ僕のち○ぼは元気なんですけど
もう1ラウンド行ってもいいですか？」

「あ、あのねえ……もう一回も何も」

「最初は挿れない約束だったのにどれだけ図々しいのよ」

「これで最後にしますから！これで付きまどうのもやめますから！」

「もう……本当にこれで最後にするのよ」



















